

ハウステンボス 光の王国 第2章「光と炎の王国」 12月31日(月)～2月1日(金)



光と炎の宮殿

光の宮殿が炎の演出で彩られ「光と炎の宮殿」に生まれ変わります。パレスハウステンボスに向かう道には「光の回廊」が、前庭には炎とイルミネーションが融合した「光と炎の華」が登場。荘厳な宮殿を美しく彩ります。点火時には炎のエンターテインメントと合わせた演出も行われます。会場では、音楽に合わせた人気のイルミネーションショーも開催します。

時 12月31日⑧～3月10日⑧

場 パレスハウステンボス

※写真はイメージです。



ファイヤーピクシー

アメリカ・サンフランシスコを拠点に活躍するグループが登場。炎を使ったパフォーマンスをお楽しみください。

時 12月31日⑧～3月3日⑧

※2月9日⑧～3月3日⑧は「打打打団天鼓」が登場します。



和楽団ジャパンマーベラス

日本の美と技を表現する和太鼓集団がこどもも登場します。和楽の粋にとらわれないステージは圧巻です。

時 12月31日⑧～2月11日⑧⑨

問 ハウステンボス総合案内ナビダイヤル ☎0570-064-110

させば食育フェア&食育祭 in させば

時 1月12日⑧10時30分～16時

場 アルカスSASEBO

内 ヘルシークッキングコンテストの試食会(先着150人)、骨密度測定、無農薬元気ニンジンジュースの試飲、親子で食育コーナー、講演会など

問 健康づくり課 ☎24-1111

えぼし冬まつり

時 1月13日⑧、14日⑧⑨10時～16時

場 えぼし岳高原リゾートスポーツの里

内 13日⑧⇒動物とのふれあい体験、豚汁の振る舞い(先着100人)、パークゴルフ無料開放(9ホール)▷14日⑧⑨⇒親子パークゴルフ大会(参加料500円・ペア36組)、ポールブルー無料開放(30分)

問 えぼし岳高原リゾートスポーツの里 ☎24-6669

平成25年成人式典



時 1月13日⑧12時(11時開場)

場 アルカスSASEBO・大ホール

対 平成4年4月2日～同5年4月1日に生まれた人

※案内状は不要です。市外に住む本市出身者も参加できます。

問 社会教育課 ☎24-1111



3才からのクラシック 親子で楽しむコンサート～フルート～

数々の国際コンクールで優勝を重ねる高校生フルート奏者、新村理々愛さんによる演奏をお楽しみください。

時 2月17日⑧15時～16時 場 中ホール

料 全席自由 大人1,000円、3歳～高校生500円 ※3歳未満は入場不可。

ランチタイムコンサートⅡ

新日本フィルハーモニー交響楽団の副首席クラリネット奏者、澤村康恵さんと地元演奏家が登場します。

時 2月25日⑧11時30分～12時30分

場 中ホール

料 全席自由 一般700円、アルカスクラブ会員500円

市政の重要事項の報告

朝長市長が12月定例市議会(12月3日)で報告した市政の重要事項を抜粋・要約してお知らせします。

◎西部クリーンセンター建て替え事業

西部クリーンセンターの建て替えに係る建設地について、市としての方向性を固めましたので報告します。

西部クリーンセンター(下本山町)は、昭和52年にごみ焼却施設、平成14年に最終処分場、平成20年に灰溶融施設を建設し、一般廃棄物処理の拠点施設となっています。

供用開始から本年で36年を迎えますが、これまでの間、施設の安定的な運営にご理解とご協力を賜りました周辺住民の皆さまに対し、心から感謝の意を表します。

市としましては、施設の所在に伴う地元負担を軽減するため、平成20年に、国道204号と市道田原棚方線との間に迂回用の道路を新設するなど生活環境の整備を行ってまいりました。

一方、施設が安全かつ安定的に能力を発揮できるよう、日常的な点検・整備はもとより、「基幹改修工事」や「ダイオキシン対策工事」を実施してきた結果、一般的な焼却施設の耐用年数といわれる20年から25年を超えて稼働させてまいりました。

しかしながら、建屋等の構造躯体や主要設備である焼却炉等は建設当時のままであり、老朽化は否めず、建て替えは喫緊の課題となっています。

このような経緯の下、西部クリーンセンター建て替えに係る建設地の選定については、行政だけで決定するのではなく、専門的かつ客観的な視点からの検討が必要との判断から、本年5月、市の附属機関である「佐世保市環境政策審議会」に適地選定について諮問しました。審議会とされては、学識経験者、環境専門家等の委員で構成する部会を立ち上げ、それぞれの観点から議論され、10月30日に、「現西部クリーンセンター敷地内が建て替えの適地である」という答申が提出されました。

私はこの答申を基に、改めて収集運搬の効率やインフラ整備の経済性などについて熟慮した結果、現西部クリーンセンター敷地内で建て替えを行うという方向性を固めるに至りました。

このことにより、周辺住民の皆さまには、これまで負担をお願いしてきたことに加え、更なる負担を強いる結果となり、大変心苦しく思っています。

市としましては、周辺住民の皆さまのご理解とご協力が得られるよう誠心誠意、説明を行うとともに、負担軽減策につきましても、十分にご意見を賜りながら、できうる限りの努力を傾注してまいりますので、ご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

◎三浦地区みなとまちづくり計画みなと交流エリア開発事業

「三浦地区みなとまちづくり計画」の「みなと交流エリア」開発事業については、10月2日に事業予定者である「チームエリナグループ」から基本計画が提出されました。

この基本計画は、公募案をより具体的な計画とされたもので、引き続き「街をつなぐ」という事業コンセプトに基づきながら、来年1月の着工、11月の開業に向け進捗を図られることとなります。

また、現在、事業予定者とは予約契約を締結していますが、計画が固まったことから、「事業用定期借地権設定契約」の締結に向け事務作業を進めています。

本事業は本市の中心市街地活性化に大きな効果が期待されますことから、今後も引き続き地元関係者の皆さんなどとの調整を図りながら、鋭意進めていきたいと考えています。

◎米国サンディエゴ港他への訪問

11月4日から11日まで、市議会や関係する民間の皆さんとともに、アメリカのサンディエゴ市やアルバカーキ市、ホノルル市を訪問しました。

サンディエゴ市では、佐世保港とサンディエゴ港との姉妹港提携30周年記念式典に参加し、港湾委員長や港湾公社CEO、サンディエゴ港が位置する5つの都市の市長や市議会議員をはじめ、姉妹港提携に貢献された長崎県人会など各界の皆さんとお会いし、佐世保港と佐世保の魅力をお伝えするとともに、両港の交流協力に対する理解と友好親善を深めてまいりました。また、サンディエゴ市長や米海軍基地関係者への表敬訪問も行いました。

姉妹都市であるアルバカーキ市では、市長や市議会議員、姉妹都市財団の皆さんとお会いし、友好親善を深めるとともに、今後の交流促進による絆の強化について相互理解を図ってまいりました。

さらに、ホノルル市では、米海軍佐世保基地を指揮する米海軍太平洋艦隊司令官ヘイニー大將への表敬訪問をはじめ、アリゾナ記念館や国立太平洋記念墓地を訪問して献花を行うほか、在ホノルル日本総領事への表敬訪問などを行いました。

本市は、米海軍基地の所在により、アメリカとの縁が深いこと、また、姉妹港関係で30年、アルバカーキ市との姉妹都市関係では46年という長い歴史を鑑み、今後はこれまで以上に交流の機会や分野を広げるなど、相互の港・都市のより一層の発展に努力してまいりたいと考えています。